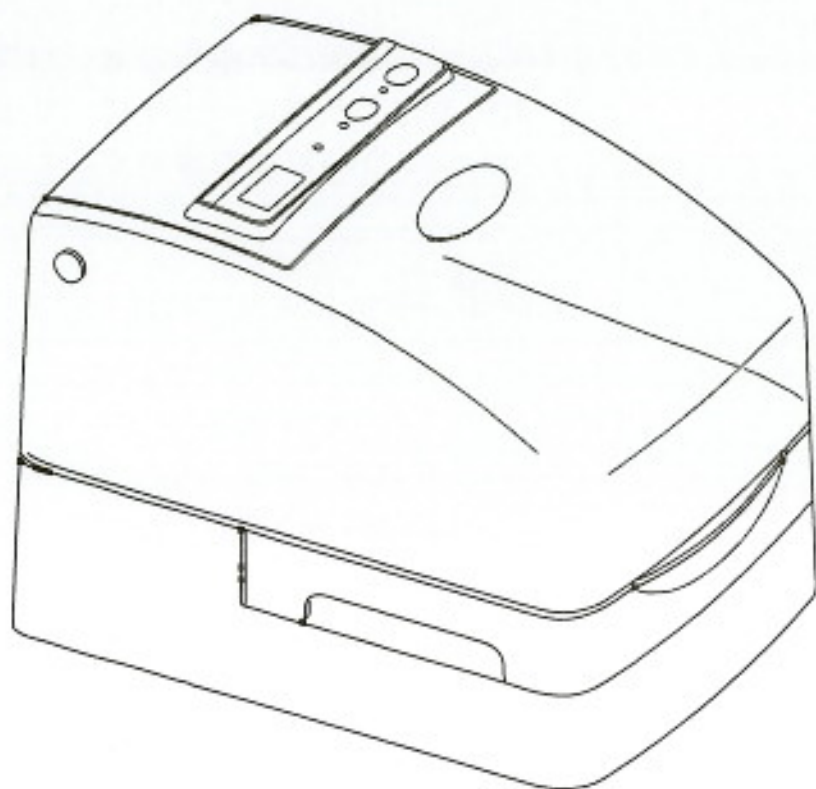


高温オイル消毒器

**DENTISTAR** II eco  
(デンティスターⅡエコ)

取扱説明書



# 目次

① 安全上の警告・注意	1
② 製品概要	2
③ 各部の名称・構造	2
④ 操作パネルの名称と機能	3
⑤ 使用方法	4
⑥ 設置方法	5
⑦ 音声案内の切換え	5
⑧ 保温機能の切換え	6
⑨ トラブルシューティング	7
⑩ Q & A	8
⑪ お手入れ・保証・修理品の返送・仕様について	9




# ① 安全上の警告・注意


## ご使用前に

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ここに示した注意事項は

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに区分しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ずお読みください。

 **警告** 「死亡または重傷などを負う危険が非常に高い注意事項」を説明しています。

 **注意** 「軽傷または中程度の傷害、または物的損害が発生する注意事項」を説明しています。

## 警告

### 火傷に注意

1. 使用中及び使用後しばらくは、伝熱板や本体が熱くなっていますので、手を触れないでください。
2. 消毒槽には、水など指定の消毒液以外のものを入れないでください。
3. 水洗いしたハンドピースをそのまま消毒槽に入れないでください。
4. 消毒中は本体を移動させないでください。

## 注意

正しくお使いいただくために次のことにご注意ください。

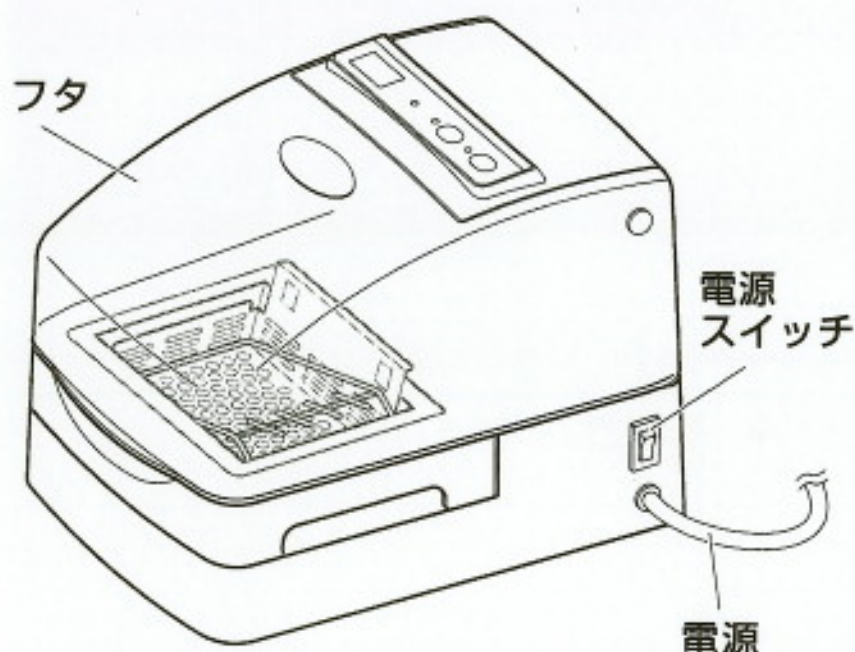
1. 消毒液「オイル」は目盛線より多く入れないでください。
2. 消毒槽と伝熱板の間に異物が挟まらないようにしてください。
3. 付属の消毒槽以外の容器を使用しないでください。
4. 裏カバーや底カバーを外さないでください。
5. 直射日光を避けた風通しのよい所でご使用ください。
6. 浴室・シャワー室、流し台の横など水のかかるような所では使用しないでください。
7. オートクレーブ滅菌不可のエアータービンハンドピースには使用しないでください。
8. エアーベアリング(ノーベア)方式のエアータービンハンドピース等には使用しないでください。
9. オイルが満たされているときの移動や衝撃は、オイル漏れの原因になりますのでご注意ください。
10. 連続して使用されない時には、ご使用後は必ず電源スイッチをお切りください。



## ② 製品概要

今回ご使用になられる高温オイル消毒装置は、歯科で歯牙切削に使われるハンドピース等を消毒する装置です。このオイルを約110℃に加熱し、その中へ消毒槽と連結されたハンドピース等が入った消毒カゴを入れて、約5分間浸すことで消毒します。消毒後カゴは上昇し、冷却ファンで冷却します。以上の動作を自動的に行うことにより、安全で短時間、かつ容易に消毒が行えます。また、ハンドピース等に与える熱や科学的ダメージは最小限に抑えるべく考案されております。また、従来機種（当社）の機能に加え、待機状態のオイル保温機能（約95℃）の有無を切替える機能を追加しました。

## ③ 各部の名称・構造



### 同梱品



小器具ケース  
(バー・リーマー・ファイル等の殺菌にご使用ください。)

### 付属品



専用オイル



消毒台  
(消毒対象物を固定する台)

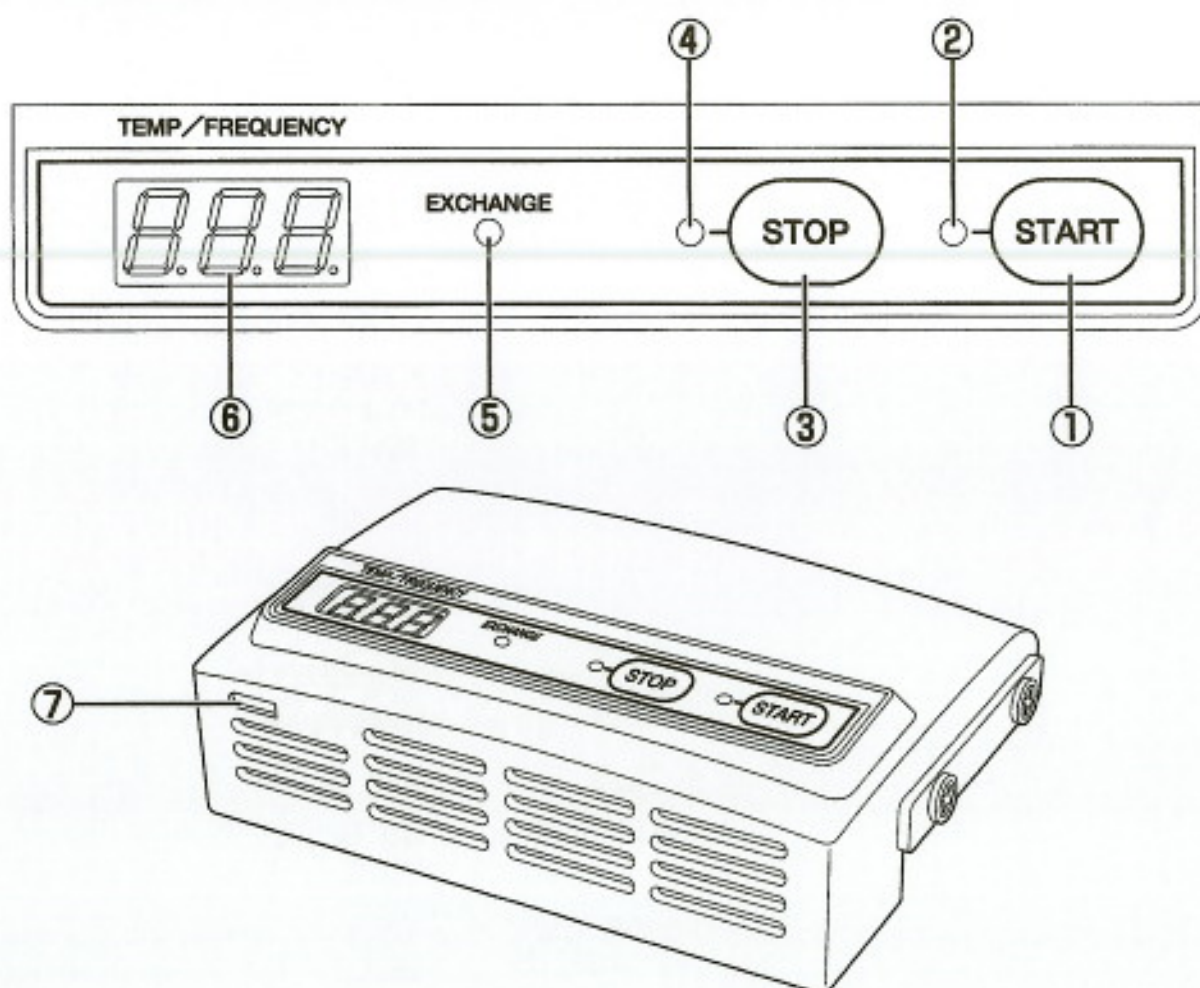


消毒カゴ



消毒槽トッテ  
(専用オイルを入れる槽)

## ④ 操作パネルの名称と機能



①	スタートボタン	●消毒を開始。
②	緑色ランプ	●消毒中を表示。
③	ストップボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消毒を中止する。(停止位置)</li> <li>●再度ボタンを押すと消毒カゴがスタート位置にもどります。</li> <li>●オイル交換の表示が出て消毒回数の表示をゼロにもどす場合は、消毒開始の待機中に5秒以上押し続けるとリセットされ表示がゼロになります。</li> <li>●音声案内を切換える。(5頁を参照)</li> <li>●保温機能を切換える。(6頁を参照)</li> </ul>
④	赤色ランプ	●消毒中止を表示。
⑤	黄色(EXCHANGE)ランプ	●オイル交換の時期を表示します。100回をこえると黄色ランプが点灯します。(2週間に一度、全液交換をお願いします。)(スタート操作が停止した場合は、ストップボタンを5秒以上押し続けてリセットすることで、再び使用出来ます。)
⑥	液濃度/消毒回数 の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>●待機中は消毒回数を表示しています。</li> <li>●スタートボタンを押して消毒動作になりますと、オイル温度の目安が表示されます。</li> </ul>
⑦	青色ランプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●作動状態がすぐさま確認でき、消毒中は点灯し冷却中は点滅します。</li> <li>●すべての工程が終了後は、消灯します。</li> </ul>



## ⑮ 使用方法

- 1 電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。
- 2 側面の電源スイッチを入れてください。電源を入れると昇降ハンガーが上下に少し動きスタート位置に止まります。
- 3 消毒槽と伝熱板の間に何も無い事を確認後、消毒槽の目盛まで専用オイルを入れてください。
- 4 消毒カゴを昇降ハンガーにかけてください。
- 5 消毒カゴに消毒台を置き下記の図のように未消毒の器具を上に乗せます。  
図1. 器具の先端だけを消毒するときは、消毒台を図のように置いてください。  
図2. 器具全体を消毒するときは消毒台を図のように置いてください。

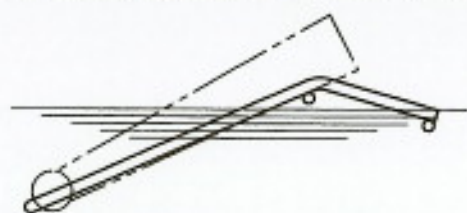


図1 局部的に消毒するとき



図2 器具全体を消毒するとき

- 6 準備が出来たら、フタを閉じてください。  
安全上フタが開いていますと消毒運転が出来ない構造になっていますので、必ずフタを閉めてください。
- 7 表示器が「0」になっているか確かめてください。  
電源スイッチを入れたときは表示器に消毒回数を表示します。お使い始めのときや、専用オイルを交換したときは必ずストップボタンを5秒以上押して「0」にしてください。
- 8 スタートボタンを押してください。
- 9 緑色ランプと青色ランプが点灯し消毒カゴが下がり消毒運転を開始します。  
消毒の使用回数表示が温度表示に変わります。  
温度表示が約110℃を表示した後、消毒工程が約5分間始動します。
- 10 約5分後、消毒が終了すると自動的に消毒カゴが上がりさらに、約5分間器具をファンにより強制冷却します。強制冷却中は、前面の青色ランプが点滅します。
- 11 冷却が終了すると音声で「殺菌を終了いたしました。」とアナウンスでお知らせし、緑色ランプと青色ランプが消灯します。消毒終了のお知らせ後、フタを開け2分程、放置することで余分なオイルを切ることで、高温な器具の温度も下がります。必ず消毒終了のお知らせ後にフタを開けて器具を取り出してください。
- 12 器具の形状等により若干温度差がありますが、取り出すときは十分冷却されていることを確かめてから取り出してください。
- 13 頻繁に消毒をされる場合は、フタを閉め、そのままにしておいてください。(オイルが約95℃に保温されます。2時間後、自動的にヒーター電源OFF。) 保温の必要がない場合は、「保温なし」の設定にしてください。
- 14 器具内に残留しているオイルを取り除くため、ハンドピースはバーを差し込んで、水を出しながら回転させた後、滅菌シート等でオイルを拭き取ってください。他の器具については、お問い合わせください。



## ⑥ 設置方法

- (1) 浴室・シャワー室・流し台の横など、水のかかるような所では使用しないでください。
- (2) 直射日光を避け安定（水平な場所）した風通しのよい所で使用してください。
- (3) 消毒カゴを設置する前に消毒槽に目盛（オイルゲージ）の位置までオイルを注ぎ、適切な量をお守りください。
- (4) 消毒槽を伝熱板に置くときは、間に異物が挟まっていないか確認してください。
- (5) 付属の消毒カゴ以外の容器は使用しないでください。
- (6) 裏カバーや底カバーを外さないでください。
- (7) 常に傾斜、振動、衝撃など安定状態に注意してください。
- (8) アースは必ずとってください。

## ⑦ 音声案内の切換え

● 音声案内は次のように切換えることができます。

- 1 音声案内なし
- 2 消毒終了のチャイム音のみ
- 3 消毒終了のチャイム音と音声案内  
(出荷時は3番の設定です。)

音声案内の内容は「殺菌を終了いたしました」です。  
音声の音量調節はできません。

### 切換えかた…

切換え操作はフタを閉じた状態で行なってください。

- 1 電源スイッチを「OFF」にしてください。
- 2 つぎにストップボタンを押したまま電源スイッチを「ON」にしてください。
- 3 5秒以内に、「ピッ」と音が鳴り、同時に表示器に(3)が表示されます。
- 4 ストップボタンから指を離し、隣のスタートボタンを押します。
- 5 押すたびに3→2→1→3と表示の数字が変わります。
- 6 設定したい数字にしてストップボタンを押してください。  
「ピー」とセット確認音がして昇降ハンガーが少し動いてスタート位置で止まり、切換え完了です。



## ⑧ 保温機能の切換え

● 保温機能の有無は次のように切換えることができます。

**0** 保温なし（エコモード）

**5** 保温あり

（出荷時は0番の設定です。）

### 切換えかた…

切換え操作はフタを閉じた状態で行なってください。

- 1 電源スイッチを「OFF」にしてください。
- 2 つぎにストップボタンを押したまま電源スイッチを「ON」にして、音声案内切換えモードに入ってください。
- 3 5秒以内に、「ピッ！」と音が鳴り、同時に表示器に(1)・(2)・(3)のいずれかが表示されますので、ストップボタンから指を離し、隣のスタートボタンを押します。
- 4 押すたびに3→2→1→3と表示の数字が変わりますので、(1)を選択してストップボタンを押してください。「ピー」とセット確認音がして昇降ハンガーが少し動いてスタート位置で止まります。  
（注意：あらかじめ(1)が選択されている場合でも、1→3→2→1と表示の数字の切換え操作を必ず行って下さい。）
- 5 電源スイッチを一度「OFF」にし、約20秒以上待ってからもう一度ストップボタンを押しながら電源スイッチを「ON」にしてください。
- 6 5秒以内に、「ピッ！」と音が鳴り、同時に表示器に(1)が表示されていますので、一度ストップボタンを離した後、もう一度ストップボタンを5秒以上長押ししてください。
- 7 「ピッ！」と音が鳴り、「保温あり／保温なし」を切換えるモードに入ります。
- 8 スタートボタンを押すたびに、「保温ありの場合は(5)」、「保温なしの場合は(0)」を繰り返し表示します。
- 9 最後に、ストップボタンを押すと、「ピー」とセット確認音がして昇降ハンガーが少し動いてスタート位置で止まり、切換え完了です。

※ 操作の途中で手順がわからなくなったり、異なる確認音や表示が出た場合は、一旦電源スイッチを「OFF」にして、もう一度最初から操作をやり直してください。

※ 保温機能の切換えを行った後、音声案内は「(1)音声案内なし」のままです。音声案内の設定を変更する場合は、再度音声案内の切換え操作を行ってください。

※ 現在の保温機能の状態（あり／なし）は、上記1～7の操作を行うことで確認できます。



## ⑨ トラブルシューティング

現象	考えられる原因	処置
1. 電源スイッチをONにしても初期動作しない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていない</li> <li>2. ヒューズの断線</li> <li>3. ランプの接触不良</li> <li>4. フタが開いている</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 再度、電源コンセントの確認</li> <li>② ヒューズ交換</li> <li>③ 交換</li> <li>4. フタを閉じる</li> </ol>
2. 表示ランプが点灯しない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ランプの接触不良</li> <li>2. フタが開いている</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 交換</li> <li>2. フタを閉じる</li> </ol>
3. スタートボタンを押しても作動しない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スイッチ不良</li> <li>2. 電源接触不良</li> <li>3. フタが開いている</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 交換</li> <li>2. 電源を確認</li> <li>3. フタを閉じる</li> </ol>
4. 消毒回数/温度の表示がマイナス表示	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消毒槽と伝熱板の接触不良</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① サーミスタ接点不良</li> <li>2. 伝熱板上に異物がないか確認</li> </ol>
5. 異臭がする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消毒槽と伝熱板の間に漏れたオイルの酸化 (移動・衝撃に注意)</li> <li>2. オイル槽漏れ</li> <li>3. オイル量が足りない</li> <li>4. 消毒槽内に切削等の異物による酸化臭</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伝熱板と消毒槽底の漏れたオイルを、拭き取り常にドライな状態にする</li> <li>② 消毒槽の交換</li> <li>3. 補充をする</li> <li>4. オイル交換</li> </ol>
6. 消毒カゴが下がらない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オイル槽の中に異物はないか</li> <li>2. 昇降ハンガーの歪み</li> <li>3. モーターより異常音・無音</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 異物の除去</li> <li>2. 目視によるフックの確認</li> <li>③ モーター不良交換</li> </ol>
7. 温度が上がらない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒーター断線</li> <li>2. 温度ヒューズの断線</li> <li>3. 電源ヒューズの断線</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ヒーター交換</li> <li>② 温度ヒューズ交換</li> <li>③ 電源ヒューズ交換</li> </ol>
8. ストップボタンによる音声の切換えが出来ないまたは、音声が鳴らない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スイッチ不良</li> <li>2. 音声プログラム不良</li> <li>3. スピーカー不良</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 交換</li> <li>② 基盤の交換</li> <li>③ 交換</li> </ol>
9. 入力時のすべての誤動作 フタ、電源SW、モーター等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プログラム誤動作 (マイコンの特性上)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 5秒以上の間隔を開け再度電源スイッチを入れ直す</li> </ol>

※丸印は、返却・修理が必要です。



## ⑩ Q&A

### 消毒運転を中止したいときは…

フタを閉めたままストップボタンを押してください。  
緑の運転ランプが消えて赤色ランプが点灯し、消毒運転を解除します。  
もう一度ストップボタンを押してください。消毒カゴがスタート位置にもどり赤色ランプが消えます。  
このまま放置しますと解除状態を維持します。  
続けて消毒運転を行なう場合は、フタを閉めた状態で改めてスタートボタンを押してください。  
消毒運転の中止は、フタを開・閉によっても行なえますが安全にご使用いただくために、ストップボタンでの操作を行なってください。

### 消毒運転中に誤ってフタを開けた場合…

消毒運転中にフタを開けますと消毒運転が解除されます。  
消毒運転を続ける場合は、フタを閉めて消毒カゴがスタート位置にもどってから改めてスタートボタンを押してください。  
フタを閉めても消毒カゴがスタート位置にもどらないときは、ストップボタンを押してください。

### 専用オイルの補充と交換する場合は…

消毒が正しく行われるように、専用オイルが消毒槽の目盛りより下がらないようにしてください。専用オイルは長く使いますと汚れたり、歯牙切削粉がたまりオイルの劣化を早める結果になります。黄色(EXCHANGE)ランプが点灯したら交換してください。2週間に一度交換してください。  
黄色ランプの表示は、消毒回数が100回を超えると交換時期を表し点灯します。交換表示ランプは、標準的な使用状態(1日10回×10日=100)を目安としていますので、消毒頻度が高かったり消費量が多いお客様は、消毒回数表示をご参考に交換時期をお決めください。また、オイルを交換されたときは操作パネルのストップボタンを5秒以上押して表示をゼロにもどします。

### 使用オイルの処分方法…

使用済みオイルは、オイル缶に添付されている専用吸収材に染み込ませ、医療廃棄物として処分してください。尚、下水等には直接破棄しないでください。油膜によるパイプ詰まり等の原因になります。

### ハンドピース等のメンテナンス…

通常のお手入れの必要があります。常温で定期的に注油・洗浄は行ってください。



# ⑩ お手入れ・保証・修理品の返送・仕様について

## お手入れ

本体の汚れは、乾いた布またはティッシュで拭き取ってください。

- ベンジン、シンナー等で拭いたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので絶対に使わないでください。

## 保証について

保証期間はご購入の日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。なお、保証期間後は有料修理となります。

## 修理品の返送についての注意とお願い

本品を修理等のために弊社にご返送いただく場合は、お手数ですが必ずご連絡ください。消毒槽内のオイルを完全に除去し、消毒槽をペーパータオル、ティッシュ等で取り除き消毒槽が、がたつかないようにテープ等で固定してください。尚、ご返送中のオイル漏れより発生した、故障の修理費用は保証期間の有無に関わらず、お客様のご負担となりますことを予めご承知おき願います。

## 仕様

品	目	高温オイル消毒器			
品	名	デンティストターⅡエコ			
型	番	BL0601			
電撃に対する保護の形式による分類		クラス1機器			
電撃に対する保護の程度による装着部の分類		B型			
定 格	電	圧	100V交流		
	周	波	数	50/60Hz	
	消	費	電	力	255W
重		量	4.2kg		
外		形	寸	法	幅200×奥行270×高さ213mm
医療機器製造販売届出番号		28B3X10001000008			

**発 売 元:株式会社 E・テック**

〒654-0151

兵庫県神戸市須磨区北落合3-28-2

TEL:078-795-1217

FAX:078-795-1227

URL : <https://www.e-teck.co.jp/>

**製造販売元:株式会社 ビッグライン**

TEL:078-795-5711

FAX:078-795-5712